

知性を伸ばし感性を育む学園

The 80th anniversary 未来へはばたけ 夢と希望! 創立80周年記念行事

●講演会

講 師／作家・永井 路子氏「歴史と小説の間」
10月9日(土)
会 場／鶴見大学記念館

講 師／東京工業大学名誉教授・森 政弘氏
「物に教えられる-ロボットコンテストの教育的意義-」
10月21日(木)
会 場／鶴見大学記念館

講 師／東京大学名誉教授・養老 孟司氏「脳と心」(仮題)
11月10日(水)
会 場／鶴見女子中学・高等学校記念講堂

●シンポジウム

テーマ「ボランティア なぜ、そこまでして行くか」
脚本家・小山内 美江子氏(基調講演)
シンポジスト・深井 穂博氏
植草 康浩氏
高橋 久夫氏ほか
10月16日(土)
会 場／鶴見大学記念館

●展 示

和歌と物語～鶴見大学図書館貴重書80選～
10月8日(金)～31日(日)
会 場／鶴見大学記念館

●コンサート

クラシックコンサート
10月1日(金)
出 演／瀬戸 瑤子氏(バイオリン)ほか
会 場／鶴見大学記念館

ジョイントコンサート
11月26日(金)
出 演／安藤 やよい氏(歌手・ソプラノ)
安藤 泰史氏(フルート)
福田 直樹氏(ピアノ)
会 場／鶴見大学記念館

お問い合わせ先：045-581-1001(代)

<http://www.tsurumi-u.ac.jp>

総持学園創立80周年記念行事実行委員会

〔鶴見大学総務課〕

『福祉つるみ』第44号 2004年7月発行 発行：社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1 UNEXビル5階 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616
<http://www.yturumi-shakyo.jp/> ●e-mail: yturumi-shakyo@guitar.ocn.ne.jp
企画編集：株式会社オープン 印刷：ツルミ印刷株式会社

●次号(第45号)は、平成16年10月1日発行予定です。特集…夏ボラ報告・区内作業所等の自主製品

※「福祉つるみ」は録音版・点字版も用意してあります。詳しくは、横浜市鶴見区社会福祉協議会までお問い合わせください。

福祉つるみ

横浜市鶴見区社会福祉協議会

vol. 44

<http://www.yturumi-shakyo.jp/>

●平成16年7月1日発行

C O N T E N T S

こんにちは、地区社協です ⑬

ひとり暮らし高齢者会食茶話会

健康づくりウォーキング ● 潮田中央地区社会福祉協議会

森岡 誓子理事より／鶴見区社会を明るくする運動実施委員会
リレートーク／読者の声・Q&A／表紙クイズ＆読者アンケート／
定期購読のお誘い ……………2～3

Let's 夏ボラ2004

「ボランティア」で、いつもと違う夏がやってくる! ……………4～5

平成16年度鶴見区社会福祉協議会事業のあらまし／

鶴見区地域福祉保健計画・鶴見区地域福祉活動計画／鶴見区社協より／
区内の団体より／善意銀行寄付者 ……………6～7

〔表紙写真：ここは鶴見のどこの空？ 問題は下に…〕

ここは鶴見のどこの空？ ① 弁天橋

上の写真は、JR鶴見線のある駅からの風景です。
その駅とはつぎのどれでしょう…

② 海芝浦
③ 新芝浦

詳しくは3ページを
ご覧ください

ひとり暮らし高齢者会食茶話会 健康づくりウォーキング

●潮田中央地区社会福祉協議会活動紹介



懐かしい曲をハーモニカで



健康のため、2.5km元気に歩きました！

私たち潮田中央地区は、鶴見川の東にある3町会のかじんまりとした地区社協です。

今回は毎年行われています年末恒例の、地区社協合同のひとり暮らし高齢者茶話会と、保健活動推進員と初めての共催で、福祉保健センターの協力により、高齢者向けの健康づくりの一環として実施したウォーキングを紹介します。

ひとり暮らし高齢者会食茶話会は、各町内会で、年2回程度実施していますが、地区合同の会食茶話会を年末に一度行っています。

15年度も12月の第一土曜日に地域の潮田神社の社務所をお借りして行いました。社務所は50畳の広間ですが、お手伝いの方を含めて84名とたくさんの方が参加され、広間はいっぱいになりました。婦人部の方の協力で料理や食事の準備をしていたが、始めに区役所の方が「ヨコハマはG30」運動のPRを兼ねた創作落語で皆さんの笑いをさそいながら、ゴミの削減を訴えていました。その後会食をしながらハーモニカの演奏が行われ、高齢者の方もご存知の童謡や歌謡曲に合わせて、皆さんも一緒に楽しそうに唄いよい雰囲気です。

食会を終了しました。

当初3時間の予定のところ30分ばかり延長してしまいましたが、皆さん喜んで帰路に着きました。

ウォーキングについては、福祉保健センターの職員の方と相談をして、「中高年者の健康づくり」の一環として、保健活動推進員と協力して、楽しみながらのウォーキングをテーマに、基本的なウォーキングの注意事項などの講習を行いました。

11月に潮田公園を出発して鶴見川の遊歩道を通り、生麦のキンピール工場まで、途中昔の潮田の渡し船の跡や旧東海道を通り魚市場や生麦事件跡などの説明を受けながら約2.5キロのウォーキングを楽しみました。

当日は天候にも恵まれ、福祉保健センターの職員の方も参加され、総勢51名の方が最後のゴールまで元気に歩きました。ビール工場では工場内施設のビールができるまでを見学して、できたてのビールで乾杯をして、広場の芝生の上で、お弁当を食べたあと、自由解散しました。

【前会長：木田 一夫】

※次回は、潮田東部地区社会福祉協議会の活動をご紹介します。

区社協より

◆サマーフレンド2004

ボランティア大募集！

障害のある子どもたちと一緒に、夏休みを過ごすプログラムです。

○内容・日時等

サマフレin幹	サマフレin社協
小1～4の障害児(3～4名)のサポート	小5～高3の障害児(10名)のサポート
7/23(金) 27(火) 8/3(火) 9(月) 19(木) 24(火) 27(金)	A: 8/4(水) 5(木) B: 8/10(火) 11(水) C: 8/23(月) 25(水) ※1コース2日間
13:30～16:30	10:00～16:00
工作・外出・調理など(「活動ホーム幹」での室内活動他)	室内遊び・プール・電車等での外出(区社協で集合解散)

○ボランティア研修:

7/18(日) 14:00～17:00
(区社協)

○対象: 高校生以上でボランティアに興味のある方。部分参加もできます。

○申込: 登録用紙にご記入の上区社協まで郵送又はFAX。7/9(金) 必着。

◆Let's夏ボラ2004

夏休みボランティア体験月間

この夏休み、区内の施設やボランティアグループでの3日間のボランティア体験をしてみませんか？

○体験期間: 7/26(月)～8/27(金)

○受付期間: 6/28(月)～8/20(金)

9:30～16:30

(祝祭日を除く月～土)

○対象: 区内在住・在学・在勤の中～大学生・教員等

○参加費: 300円(保険代)

○申込: 受付期間内に区社協へ来所して

申込書を提出

◆子育てサポートシステム

子育てサポートシステムは、子育てをお手伝いしてほしい方、してくださる方で成り立つシステムです。登録ご希望の方は、説明会にご出席ください。

○日時: 7/21(水) 8/18(水)

ともに14:00～15:00

○申込: 前日までに住所・氏名・電話番号を電話またはFAX。

●善意銀行寄付 善意の寄付をありがとうございました

金銭をお寄せいただいた方々(敬称略)

鶴見銀座商店街組合つるぎんドット来い(4) / 小林 義邦(3) / マンドリンアンサンブルアマービレ / 工藤 高之祐(3) / 白 蓉子(3) / 樋高 禮子 / 阿佐 貞太郎(3) / 鶴見区自治連合会婦人部 / 金光教生妻会 / TSURUMI ふれあい祭り実行委員会 / 旭硝子獅子ヶ谷社宅自治会 / 西脇 和子 / あしほ / 横浜鶴見西ライオンズクラブ / (社) 日本競輪選手会神奈川支部 / 鶴見区民踊愛好会 / 平井 洵子(2) / (社) 日本盆裁協会横浜東支部 /

◆福祉総合相談

生活上の困りごと相談会。予約不可。直接会場へ。

○日時: 7/6、13、8/3、24、9/14、28(全て火曜日)
13:00～15:00
(弁護士相談は13:00に抽選)

◆赤十字救急法(正規)講習会

この夏、応急手当の正しい知識と技術を身につけましょう。検定に合格すると救急救急員認定証が交付されます。

○日時: 8/7(土) 8(日) 14(土)

15(日)ともに9:00～16:30

○対象: 全日程受講できる満15歳以上の方30名(抽選)

○参加費: 3,000円

○申込: 〒住所・氏名(ふりがな)・TEL・年齢・性別・生年月日を記入の上、ハガキかFAXで区社協「赤十字救急法係」まで。
7/30(金) 必着。

◆ブラインドメイト

①入門講座

②誘導基礎講座

視覚障害者の様々なボランティアについてご紹介。これからボランティアしてみたいという方、お待ちしています。①だけの参加も歓迎。

○日時: ①8/20(金) 27(金)

9/3(金) 9(木)

ともに13:30～15:30

音声訳・点訳・拡大写本・誘導等、視覚障害者のボランティアの体験。

②9/16(木) 30(木) 10/7(木)

ともに13:30～15:30

①の修了生に対して、駅やバス、電車等を利用して誘導の体験・実習等。

○参加費: 500円(教材代)

○申込: 7/12(月)より区社協へTEL。

定員(20名)になり次第締切り。

その他

◆作業所自主製品販売会のご案内

区内の地域作業所等で作成している自主製品の販売会を行います。日用品やおかしなど、まごころこめて作った自主製品、ぜひご覧ください。

物品をお寄せいただいた方々(敬称略)

吉兆グループ(3) / 鶴見女子中学校3年生一同

○日時: 7/23(金) 8/27(金)
9/17(金)

ともに10:00スタート

○場所: 鶴見区役所1階ロビー

◆総持学園創立80周年記念市民フォーラム「福祉制度の未来を問う」

主催: 鶴見歯学会(鶴見大学歯学部)

○講師: 樋口恵子

(高齢社会をよくする女性の会代表)

○日時: 7/17(土)

15:30～16:30(15:00～受付)

○場所: 鶴見大学会館メインホール

(鶴見駅西口から3分)

○参加費: 無料

○申込: 住所・氏名・年齢・連絡方法を記入のうえ、郵送・FAX・メール。座席数の都合により、事前登録がない場合、お断りすることがあります。

○連絡先: 〒230-8501

横浜市鶴見区鶴見2-1-3

鶴見大学歯学部予防歯科学教室

(代表: 鶴本明久)

Tel.045-581-1001(内8375)

Fax.045-573-9599

E-mail tsurumoto-a@tsurumi-u.ac.jp

区内の団体より

◆4月1日、「鶴見区肢体障害者福祉協会」誕生

平成8年のある夜、私はお手洗いに立ち上がる事ができず、それに気付いた家内の手を借りて救急車で病院に行き、脳梗塞で入院しました。現在右半身不随です。この会は、そういう人たちのための会なのです。

ワープロ・ポッチャ・グラウンドゴルフ・ローリングバレー・ケン玉など、頭の訓練、身体の鍛錬など幅広く行っている会です。気軽に声をかけてください。自分のことは自分でやるために、まず身体を鍛えましょう！
(問合せ先: TEL.511-3469 中村)

◆編集後記

新しい年度を迎え、表紙は「鶴見の空」シリーズで出発です。おススメのポイントがありましたら、ぜひ教えてください。学生の皆さん、そうでない皆さんも、この夏は新しい体験にチャレンジしてみませんか？

●編集委員 小山和雄 山崎哲郎 松尾忠夫 平松繁利 添田聖一



JR鶴見駅徒歩5分 / 京急鶴見駅徒歩4分 ※みずほ銀行鶴見支店隣

●平成16年度鶴見区社会福祉協議会事業のあらまし●

鶴見区社会福祉協議会では、
平成16年度に第3次地域福祉活動計画を策定します。
今年度は計画策定にあたり、次の4つの事業を重点的に展開します。

(1) 地区社会福祉協議会(地区社協)の 事業と運営体制の支援

地域で福祉活動を進めるにあたり、地区社協は重要な役割を占めています。
区社協は、積極的に地区社協の役員等と話し合いをもち、具体的に支援します。

(2) ボランティア活動のための 人材の発掘と育成

地域福祉活動においてボランティアは欠かすことができない人材です。
そこで、各種講座の開催等により、積極的に人材の発掘、スキルアップ、グループ化・組織化を図ります。

(3) 当事者団体等への活動支援

障害児者団体や子育てグループ等の活動そのものを支援するとともに、ボランティア講座の共催等により、運営に協力するボランティアの発掘に協力します。

(4) 子育て広場の運営

広場事業をととして、区社協が実施している「子育てサポートシステム」を強化するとともに、子育てボランティアの育成に努めます。また、障害児を含めた子育てグループのたまり場としても開放します。
(佃野町27-28 ☎582-1293 7月1日開所)

以上の4つの重点事業の他に、全体では約40の事業を実施します。
詳細につきましては、区社協までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

※区社協の事業は、地域の皆さまの会費・賛助会費等によって実施されています。本年度も賛助会費の募集につきましては、区内各地区社協のご協力を仰ぎながら行います。例年と変わらず地域の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

【区社協：山下】

～鶴見区地域福祉保健計画・鶴見区地域福祉活動計画～

第2回地域懇談会が 開催されました

計画の策定に向けて5月22日～6月12日の間、15会場で延べ649名の方が参加され、活発な話し合いが行われました。そこで出された声をご紹介します。

- ※高齢者は、用がないので外出しない、テレビを見てばかりで外に出ない。外に出るきっかけを作ることが必要。近くにいる人が積極的に動きかけることだ。(60代女性)
- ※老人力のネットワークを活用し、もっと力を発揮できる場があるとよい。(70代男性)

- ※障害者も近所の人と知り合いになりたいと思っている。こちらからも声かけをしてほしい。災害時は、同じ地域の中で障害のことを理解している人がいると安心である。(40代女性)
- ※若い世代もまずは盆踊りのような気軽に参加できる活動から参加してみたい。また、町内会の掃除活動が、子ども会にも広がっている。(50代男性)
- ※子育て中の母親も近所づきあいを望んでいるが、そのきっかけづくりがわからない。(30代女性)

一緒に考えましょう!! 地域における福祉活動の推進と 今後の協働のあり方

シンポジウム開催

日時：平成16年7月25日(日)
13:30～16:00

会場：鶴見大学会館メインホール
(鶴見区豊岡町3-18 鶴見駅西口から徒歩3分)

内容：中間案の発表
パネルディスカッション

お問合せ：鶴見区事業企画係
Tel.510-1826 Fax.510-1899

【区役所：瀧口・古谷】

よく、 鶴見区社会を 明るくする運動 実施委員会です。

みなさん、「社会を明るくする運動」という運動をご存じですか？青少年の健全育成や防犯を地域ぐるみで取り組んでいこうというこの運動は、

法務省の提唱のもと全国的に展開されており、7月はその「強調月間」とされています。

鶴見区社会を明るくする運動実施委員会は、鶴見区での運動をとりまとめる機関です。今年も、区内地域住民の方々や、公的機関など多方面の協力を得ながらミニ集会や講演会など様々な活動が予定されています。青少年による犯罪が増え、また凶悪なものとなってきており、地域での啓発活動はより重要なものとなってきました。ぜひお住まいの地区のミニ集会や講演会等にご参加いただき、ご一緒に住みよい明るい社会づくりをすすめましょう！

【区社協：川嶋】

リレートーク

地域でともに生活するためのノーマライゼーション

本来、人間は、たとえ疾患や障害があろうとも、住み慣れた自宅や地域で安心した生活がおくれることが福祉の基本的な考え方です。ところが、比較的最近まで、「福祉」といえば障害者や高齢者などの「社会的弱者」を「收容保護」することと考えられていました。

しかし、1981年の国際障害者年においてノーマライゼーションの考え方が紹介されて以降、世界の国々で、收容保護から人権尊重へ、施設から地域や住宅へ、ADL(日常生活動作)からQOL(生活の質)へと福祉政策が変化しています。

我が国でも、1993年には「障害者基本法」が制定され、1995年には「障害者プラン～ノーマライゼーション7か年戦略～」が策定されました。

この計画には次の7つの視点がもりこまれています。

- ①地域で共に生活するために
- ②社会的自立を促進するために
- ③バリアフリー化を促進するために
- ④QOLの向上を目指して

- ⑤安全な暮らしを確保するために
- ⑥心のバリアを取り除くために
- ⑦我が国にふさわしい国際協力・交流をこれにより、障害のある人々が地域で共に質の高い生活をおくれるように、住宅や活動の場や安全な暮らしの確保、バリアフリーの促進などが展開されつつあります。

ノーマライゼーションの理念が非常に良く反映されているセンターが富山県に在ります。ここでは年齢や障害のあるなしに関わらず受け入れ、支える側も支えられる側も同じ立場で活動しています。このような形態の作業所を鶴見区障害児者団体連合会において作り上げたいと私は考えており、その実現に向け、各老人団体・地域自治団体・行政の協力を得られる事を望んでいます。

障害があるなしや、障害の種類に関わらず、お互いに協力し合い、充実した地域生活を営むことができるような社会が作られていくことを望んでいます。

【編集委員：山崎 哲郎】

◆読者の声・Q&A

介護の仕事をしていますが、庭木の手入れや防虫剤散布など、介護の範囲を超えて制度をうまく利用している人が多くみられます。役所の方でも本当に必要な内容、時間数なのか細かくチェックしないと…と不信を感じています。オンブズマンのような人にチェックさせること、利用する側もされる側も正当であることが必要だと思います。(西村様)

Q. ふれ～ゆの受付の横に障害者の方々の作品が販売されています。私も時々ぞいて小物などを買っていますが、他の場所でも販売されるとよいと思います。(平井様)

A. 区内の地域作業所などの自主製品は、末吉地区センター・矢向地域ケアプラザ・鶴っこショップでも販売されています。区役所でも毎月1回販売会を行っています。(7ページに販売日程を掲載) 次号ではこれらの製品紹介などを特集します。お楽しみに！

◆表紙「鶴見の空」クイズ&愛読者アンケート

◆バスネット1,000円分を5名にプレゼント!



表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください！正解者の中から抽選でバスネットをプレゼントします。また、「福祉のこんなコト知りたい」などのご意見もお待ちしております。応募は、官製はがき・FAX・Eメールで、①表紙の写真の撮影場所②〒・住所・氏名・電話番号③性別・年齢④福祉つるみを手に入れた場所⑤今号の中でよかった記事・興味をもった記事⑥取り上げてもらいたいテーマ⑦感想を記入の上、8月31日(必着)までに下記住所「アンケート係」へ。当選者は次号にてご紹介いたします。いただいたご意見は紙面でご紹介することがありますのでご了承ください。第43号当選者 相沢様 谷沢様 西村様 鮎田様 平井様 八木様 (五十音順)

〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1-5階
鶴見区社会福祉協議会(☎:504-5616 Eメール:
yturumi-shakyo@guitar.ocn.ne.jp)

「福祉つるみ」を 定期購読してみませんか

定期購読を希望される方は、80円切手を4枚と必要事項(〒・住所・氏名・電話番号)を記入の上、封書で下記住所の「定期購読」係までお申し込みください。〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1 U N E Xビル5F 鶴見区社会福祉協議会

◆まずは、「夏ボラ度」診断でスタート！

～これから始めるボランティア体験を想像しながら～
はい(2点) まあまあ(1点) いいえ(0点)でチェックしてください

チェック	点 数
1 ルールや約束、時間は守る？	
2 忘れ物はしない？	
3 自分からあいさつするほう？	
4 人の話はよく聞くほう？	
5 “夏ボラ”を楽しみたい？	
合 計	点

さて、あなたの「夏ボラ度」は…

- 8点～10点→ボランティアの**素質バッチリ**。
積極的に参加しているいろんなことを学ぼう。
- 4点～7点→ ボランティア・デビューまで**あと一歩**。
活動の基本を確認してみよう。
- 0点～3点→ ボランティア活動の前に…
まずは自分の生活スタイルを見直してみよう。

福祉の施設

「施設」と言っても、利用する人や目的も様々。いつも前を通り過ぎるだけで何となく気になっている施設、ありませんか？

例：（保育園・老人ホーム・地域ケアプラザ・障害者地域作業所などで）遊び相手・お茶出しや話し相手・作業のお手伝い・洗濯物たたみや掃除など

イベント

「学校があるから休みの日しか時間がない」という人は、夏休みはイベントに参加する絶好のチャンス。

例：お年寄りや障害児との外出・キャンプ 講座など

Let's夏ボラ2004 詳しくは7ページへ！

「ボランティア」で、いつもと違う夏がやってくる！

Let's 夏ボラ2004

地域での活動

地元の人たちで、お年寄りのお弁当を作ったり食事に招いたりしている地域があります。あなたの地域ではどうでしょう？

例：食事会のお手伝い・話し相手・お弁当配りの付き添いなど

ボランティアグループ

ボランティアグループには、手話や点字などの技術グループ、障害児者と一緒に遊ぶグループなど、ここでは紹介できないたくさん！ボラセンでは福祉を中心としたボランティアグループをご紹介します。

◆ボランティア活動始める前に

誰かに強制されるのではなく、自分で決めて始めることが「ボランティア」。だから、自分ができることを責任を持って始めよう。

- ★無理をしない：できないことはできないと言うのも長く続ける秘訣！
- ★約束は守ろう：遅刻や無断欠席はもちろん、活動中に知った個人的な情報を人に漏らすことはやめよう！
- ★対等な関係を築こう：「してあげる」ではなく、「一緒にやろう」という気持ちで取り組もう！



先輩ボランティアであるコーディネーターが、あなたの一歩をお手伝い

◆「ボラセン」へ行こう！

「興味はあるけどきっかけがつかめない」「どんな活動があるのか分からない」…という人は、まずはボランティアセンター（ボラセン）へどうぞ。

特に、夏休みは「Let's夏ボラ2004ボランティア体験月間」として、区内での3日間のボランティア体験の相談を受け付けています。

「いよいよ今年も夏が始まります。他人の気持ちを思いやるやさしさ、人と人との助け合いなどを体験し、みんなで有意義な夏休みを過ごしましょう」

（コーディネーター長谷川さん）

（ボラセンの活動内容）

- 鶴見区内のボランティア団体・福祉施設などの紹介
- ボランティアしたい方・して欲しい方の相談・調整
- ボランティア活動に関する各種講座・交流会の開催
- 各種保険の案内・手続き

※ボラセンの活動は、福祉に関することが中心です
相談受付：月～土 9：30～16：30（祝祭日を除く）

場 所：鶴見区社会福祉協議会内（UNEXビル5階）
TEL：504-5619

【区社協：川崎】

●実際にボランティア活動始めてみた方に、インタビューしてみました●

お話をうかがったのは、大学生の渡邊結美子さん。昨年夏に実施した、障害児と夏休みを楽しく過ごす「サマーフレンド2003」に参加していただきました。

Q：ボランティアを始めたきっかけは？

A：大学の先生に薦められて。内容が楽しそうだったのと、夏休みをゴロゴロと時間を持て余すよりも有意義に過ごそうと思ったからです。

Q：始めてみて、楽しかったこと・つらかったことは？

A：1人で参加したときも不安なく活動できたり、ペアになった子のご家族と話したり、次の時に子どもが覚えてくれたりした時はすごくうれしかった。つらかったことは、体力を使ってへロへロになったこと。あと、他のボランティアさんで、子どもに「私は自閉症

じゃない」と言われた人がいて、なんと答えて良いか分からなかったそうです。実際私が言われたらなんと返したらいいかなと思いました。

Q：今も続けていますか？またそれはどんな活動ですか？

A：障害のある子どもと出かける活動がほとんどです。以前一緒に活動したボランティアさんや子どもたちに会えるのを楽しみに、できる限り続けています。

Q：今後どんな活動をしてみたいと思いますか？

A：時間があれば、キャンプ等にも参加したいです。

Q：今年初めてボランティアを始めようとしている学生さんに一言！

A：きっと皆さんが考えている以上に楽しいし、得られるものもたくさんあると思います。ぜひ、時間ができたら気軽に参加してみてください。

渡邊さんは、連日の猛暑にもかかわらず、張り切って参加してくれました。他のボランティアさんや子どもたちとも良い関係を築けていたようです。楽しい夏を過ごしてもらえたようですね。皆さんもこの夏、ひと味違った夏休みにしてみませんか？

【聞き手 区社協：川崎】



「サマーフレンド2004」 詳しくは7ページ!!



KIRIN Beverage

生茶

なまちゃ

緑茶

茶 緑茶は、生茶。

キリンビバレッジ
www.beverage.co.jp

生茶葉抽出物使用。[加熱処理]のんだあとはいりサイクル